

問1 室町時代に栄えた文化について、墨の濃淡のみを用いて風景などを描く芸術を確立した人物と、親子で「能」を大成した人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

1. 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥	2. 水墨画を確立した観阿弥・世阿弥と、能を大成した雪舟	3. 浮世絵を確立した菱川師宣と、能を大成した雪舟	4. 歌舞伎を確立した菱川師宣と、能を大成した観阿弥・世阿弥
------------------------------	------------------------------	---------------------------	--------------------------------

問2 江戸時代初期の外交において、1612年の「禁教令」、1637年の「島原・天草一揆」、そして1639年の「ポルトガル船の来航禁止」という歴史的な流れがあります。このうち、1637年の一揆において首領とされた人物の名称と、1639年の措置で来航を禁止された国の正しい組み合わせはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 大塩平八郎 — オランダ	2. 天草四郎 — スペイン	3. ペリー — イギリス	4. 天草四郎 — ポルトガル
-----------------	----------------	---------------	-----------------

問3 西暦2000年以降の夏季オリンピック・パラリンピックは、オーストラリア、ギリシャ、中国、イギリス、ブラジル、日本の順で開催されました。このうち、南半球に位置し、かつ「1つの国で1つの大陸」をなしている国が属する大陸を除いたとき、残りの開催国が属している大陸の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. ユーラシア大陸・北アメリカ大陸	2. ユーラシア大陸・南アメリカ大陸	3. アフリカ大陸・南アメリカ大陸	4. アフリカ大陸・北アメリカ大陸
--------------------	--------------------	-------------------	-------------------

問4 日本の司法制度において、国民が裁判に参加する「裁判員制度」の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 検察官が事件を起訴しなかった判断が妥当であるかどうかを、国民から選ばれた委員が審査して起訴を促す。	2. 民事裁判において、裁判官の判決を補助するために、法律の専門知識を持つ国民が専門委員として審理に加わる。	3. 最高裁判所の裁判官がその職務に適しているかどうかを、衆議院議員総選挙の際に国民が直接投票で審査する。	4. 殺人などの重大な刑事裁判の第一審において、国民から選ばれた裁判員が裁判官とともに有罪・無罪や刑罰の内容を決定する。
--	--	---	--

問5 幕末の開港にともなう生糸の大量輸出が日本国内の経済に与えた影響と、それに対して幕府がとった政策の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 生糸の品質低下を防ぐ目的で、幕府は「富岡製糸場」を建設し、国が直接生産と輸出を管理する体制を整えた。	2. 安価な外国産の生糸が流入し国内産業が打撃を受けたため、幕府は「株仲間」を再興して輸入制限を実施した。	3. 輸出による利益で国内が好景気となったため、幕府はさらなる自由貿易を推進し、関税を撤廃する政策をとった。	4. 国内で生糸が不足し価格が急騰したため、幕府は「五品江戸廻送令」を出し、江戸の間屋を経由させて流通を統制しようとした。
---	---	--	---

問6 「新しい人権」の一つである知る権利が主張されるようになった背景と、それに関連する制度についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 主権者として適切な意思決定を行うために、行政が持つ情報の開示を求める仕組みが必要となり、情報公開法が制定された。	2. 自分の情報をむやみに他人に知られないようにするため、情報の開示を厳しく制限する情報公開法が制定された。	3. 行政が効率的に仕事をするのを助けるため、主権者が国に情報を提供しなければならないという義務が定められた。	4. SNSの発達により、個人の名誉毀損を防ぐ必要性が高まったため、情報の公開を一切禁止する制度が整えられた。
---	--	---	---

問7 日本の議院内閣制において、内閣が国会に対して「連帯して責任を負う」ことの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 内閣が国会の決定を無視しても、裁判所が認めれば責任を問われない仕組み	2. 国民が直接選挙によって内閣のメンバーを一人ずつ選び、それぞれが国民に個別の責任を負う仕組み	3. 内閣が行う行政について、内閣総理大臣とすべての国務大臣が一致して国会に対し責任を負う仕組み	4. 内閣総理大臣だけが行政の全責任を負い、他の国務大臣は責任を負わない仕組み
---------------------------------------	--	--	---

問8 明治時代後半、日本の産業が軽工業から重工業へと発展する基礎となった官営の八幡製鉄所について、その設立の背景と所在地の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 日清戦争で得た賠償金をもとに、福岡県に建設された。	2. 第一次世界大戦の好景気をもとに、兵庫県に建設された。	3. 日露戦争の勝利による賠償金をもとに、神奈川県に建設された。	4. 地租改正による税金をもとに、群馬県に建設された。
------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	-----------------------------

問9 日本の地方自治において、住民が行政の長である首長（知事や市町村長）と、議決機関である地方議会の議員を、それぞれ別の選挙によって直接選出する仕組みを何といいますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 議院内閣制	2. 二元代表制	3. 三権分立	4. 直接民主制
----------	----------	---------	----------

問10 農業産出額が約4435億円にのぼる鹿児島県の産業統計において、その約64%にあたる約2837億円を占めている、この県の農業を象徴する部門は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 大規模かんがい施設を利用した米づくり	2. 肉用牛や豚、鶏などの畜産	3. 温室などを利用した促成栽培による野菜	4. サトウキビや茶などの工芸作物
-----------------------	-----------------	-----------------------	-------------------

問11 日本の地方自治において、地方議会がその地域の実情に合わせて独自に制定することができる決まりについて、適切な説明はどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)

1. 地方公共団体の長が独断で決定し、直ちに住民に義務を課することができる。	2. 日本国憲法の定めにより、法律の範囲内であれば地方公共団体が独自に制定できる。	3. 国の法律と同じ効力を持つため、国会の承認を得なければ制定できない。	4. 国の行政機関である内閣が、各地域の状況を判断して個別に制定する。
--	---	--------------------------------------	-------------------------------------

問12 高知県における、なすなどの野菜の生産の特色を説明した文として最も適切なものを、統計資料から得られる「2月から5月に東京都中央卸売市場への入荷が集中している」という事実に基づき選択しなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 広大な土地をいかし、大型機械を用いて少ない労働力で大量の作物を生産する工夫をしている。	2. 高冷地の涼しい気候をいかし、夏から秋にかけての出荷時期を遅らせる工夫をしている。	3. 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。	4. 大消費地に近い立地をいかし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を毎日出荷する工夫をしている。
--	---	--	--

答え合わせ・解説

問1	答え 1 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥	室町時代には、足利義満や義政の時代を中心に、武士の文化と公家の文化が融合した独自の文化が発展しました。雪舟は明（中国）に渡って絵画の技法を学び、墨の濃淡で表現する水墨画を日本独自の芸術として確立しました。また、猿楽などの伝統的な芸能をもとに、観阿弥・世阿弥の親子が「能」として芸術性の高い舞台芸能に仕上げました。菱川師宣や歌舞伎は江戸時代の文化に該当するため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 4 天草四郎 ―― ポルトガル	1637年に九州で発生した島原・天草一揆では、天草四郎（益田時貞）が首領として担ぎ出されました。幕府はこの反乱を鎮圧した後、キリスト教の影響を排除するために、それまで貿易を続けていたポルトガルを1639年に追放しました。オランダについては、布教を目的としないことを条件に、その後の長崎での貿易が継続されました。
問3	答え 2 ユーラシア大陸・南アメリカ大陸	2000年のシドニー大会を開催したオーストラリアは、オーストラリア大陸に属する単一の国家です。これを除くと、ギリシャ、中国、イギリス、および次回開催予定であった日本はすべてユーラシア大陸（およびその周辺）に位置し、ブラジルは南アメリカ大陸に位置しています。北アメリカ大陸でも開催実績はありますが（1996年アトランタなど）、2000年から2020年までの期間内においては、選択肢にあるようなユーラシアと南アメリカの組み合わせが該当します。
問4	答え 4 殺人などの重大な刑事裁判の第一審において、国民から選ばれた裁判員が裁判官とともに有罪・無罪や刑罰の内容を決定する。	裁判員制度は、司法に対する国民の理解を深め、信頼を高めるために導入されました。対象となるのは殺人や強盗致死傷などの重大な刑事事件の第一審に限られます。国民から選ばれた6人の裁判員と3人の裁判官が、対等な立場で被告人が有罪か無罪か、また有罪の場合にはどの程度の重さの刑罰（量刑）にするかを話し合って決定します。検察審査会や最高裁判所裁判官の国民審査とは、その役割や対象となる手続きが異なります。
問5	答え 4 国内で生糸が不足し価格が急騰したため、幕府は「五品江戸廻送令」を出し、江戸の間屋を経由させて流通を統制しようとした。	生糸が海外へ大量に流出したことで、日本国内では生糸不足に陥り、価格が激しく上昇しました。これによって国内の絹織物業が打撃を受け、物価高騰に苦しむ人々が増えたため、幕府は1860年に「五品江戸廻送令」を出し、生糸などの重要品目を横浜へ送る前に必ず江戸の間屋を通すよう命じました。しかし、利益を求める商人や外国からの反対により、この法令は大きな成果を上げることができませんでした。
問6	答え 1 主権者として適切な意思決定を行うために、行政が持つ情報の開示を求める仕組みが必要となり、情報公開法が制定された。	現代社会において、行政の役割が拡大・複雑化する中、国民が政治の主体である「主権者」として正しい判断を下すためには、行政の活動内容を知ることが不可欠となりました。こうした背景から「知る権利」の重要性が高まり、それを実現する具体的な手段として1999年に情報公開法が制定され、国民による行政文書の開示請求が制度化されました。これは政治を国民にとって身近で開かれたものにするための重要な仕組みです。
問7	答え 3 内閣が行う行政について、内閣総理大臣とすべての国务大臣が一致して国会に対し責任を負う仕組み	議院内閣制の下では、内閣は一つの組織として活動し、その方針や行動については閣僚全員が連帯して責任を負います。もし国会から信任が得られないと判断され、衆議院で内閣不信任決議が可決された場合には、内閣は総辞職するか、衆議院を解散して国民の信を問わなければなりません。これは、大統領が国民から直接選ばれる大統領制とは異なる特徴です。
問8	答え 1 日清戦争で得た賠償金をもとに、福岡県に建設された。	八幡製鉄所は、日清戦争（1894年～1895年）の結果として清から支払われた多額の賠償金の一部を資金に充てて建設されました。場所は、筑豊炭田の石炭や中国大陸から輸入した鉄鉱石を利用するのに適した福岡県に設置され、1901年に操業を開始しました。これにより、日本はそれまでの繊維工業中心の軽工業から、鉄鋼を生産する重工業へと産業の軸を移す基礎を築きました。
問9	答え 2 二元代表制	地方自治では、住民が「首長」と「議会議員」という2つの代表を別々の選挙で直接選ぶ仕組みがとられています。これを二元代表制と呼び、首長と議会がそれぞれ独立した立場で住民の意思を反映し、互いに抑制・均衡を保ちながら地方行政を運営することを目的としています。国政における議院内閣制では、国会が内閣総理大臣を指名する点に大きな違いがあります。
問10	答え 2 肉用牛や豚、鶏などの畜産	鹿児島県は、シラス台地という地理的条件を背景に、広大な土地を活用した畜産業を主軸としています。豚の飼育頭数は全国1位、肉用牛も全国トップクラスを誇り、食料供給基地としての役割を担っています。選択肢にあるサトウキビは沖縄県や鹿児島県の離島で盛んですが、県全体の産出額の割合で見ると畜産が圧倒的です。
問11	答え 2 日本国憲法の定めにより、法律の範囲内であれば地方公共団体が独自に制定できる。	地方自治の原則に基づき、日本国憲法第94条では地方公共団体が「条例」を制定する権限を認めています。これは、国が定める法律の範囲内という制約はありますが、それぞれの地域が抱える特有の課題やニーズに対し、地方議会での議論を通じて柔軟に対応するための仕組みです。
問12	答え 3 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。	高知県で行われている促成栽培の背景には、冬の気温が高いという自然条件があります。ビニールハウスを用いて内部の温度を保つことで、市場での需要が高い冬から春にかけての出荷を実現しています。これに対し、夏から秋に出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、主に長野県などの冷涼な地域で行われています。